

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 クリーンリバー フィネス北大前

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数					
Q 建築物の環境品質													3.0
Q1 室内環境													3.4
1 音環境													2.2
1.1 騒音													1.9
1.2 遮音													1.0
1 開口部遮音性能													3.0
2 界壁遮音性能													3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													3.0
1.3 吸音													1.0
2 温熱環境													1.0
2.1 室温制御													1.0
1 室温													1.0
2 外皮性能													1.0
3 ゾーン別制御性													1.0
2.2 湿度制御													1.0
2.3 空調方式													1.0
3 光・視環境													2.1
3.1 昼光利用													2.4
1 昼光率													2.0
2 方位別開口													3.0
3 昼光利用設備													3.0
3.2 グレア対策													1.0
1 昼光制御													1.0
2 眩り・光害対策													-
3.3 照度													-
3.4 照明制御													3.0
4 空気質環境													3.4
4.1 発生源対策													3.0
1 化学汚染物質													3.0
2 浮遊粒子状物質													-
4.2 換気													4.0
1 換気量													3.0
2 自然換気性能													5.0
3 取り入れ外気への配慮													5.0
4.3 運用管理													5.0
1 CO ₂ の監視													-
2 喫煙の制御													5.0
Q2 サービス性能													3.3
1 機能性													3.2
1.1 機能性・使いやすさ													3.0
1 広さ・収納性													3.0
2 高度情報通信設備対応													3.0
3 バリアフリー計画													3.0
1.2 心理性・快適性													3.9
1 広さ感・景観													1.0
2 リフレッシュスペース													2.0
3 内装計画													4.0
1.3 維持管理													3.0
1 維持管理に配慮した設計													3.0
2 維持管理用機能の確保													3.0
3 衛生管理業務													-
2 耐用性・信頼性													2.9
2.1 耐震・免震													3.0
1 耐震性													3.0
2 免震・制振性能													3.0
2.2 部品・部材の耐用年数													3.0
1 躯体材料の耐用年数													5.0
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													2.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔													2.0
2.4 信頼性													2.6
1 空調・換気設備													3.0
2 給排水・衛生設備													3.0
3 電気設備													3.0
4 機械・配管支持方法													1.0
5 通信・情報設備													3.0
3 対応性・更新性													2.8
3.1 空間のゆとり													4.0
1 階高のゆとり													4.0
2 空間の形状・自由さ													4.0
3.2 荷重のゆとり													3.0
3.3 設備の更新性													2.8
1 空調配管の更新性													3.0
2 給排水管の更新性													2.0
3 電気配線の更新性													3.0
4 通信配線の更新性													3.0
5 設備機器の更新性													3.0
6 バックアップスペースの確保													3.0

CASBEE_Sapporo2014v1.2 クリーンリバー フィネス北大前		重点評価項目				■A:省エネルギー		■B:省資源		■C:緑化		■D:雪処理				
スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q3 室外環境(敷地内)																
1 生物環境の保全と創出				C		2.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				C		3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮																
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D	2.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0
3.2 敷地内温熱環境の向上			B	C		2.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0
LR 建築物の環境負荷低減性																
LR1 エネルギー																
日本住宅性能評定基準の省エネルギー対策等級4を満たしている。																
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				4.9	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用		A				3.0	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0
BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.91																
3 設備システムの高効率化						4.9	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				5.0	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		A				4.9	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低炭素建築物新築等計画認定を取得している。																
低炭素建築物新築等計画認定を取得している。																
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		A				3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A				3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価						3.0	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		A				3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		A				3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル																
節水型器具を使用している。																
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4
1.1 節水						4.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.6	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			B			2.0	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B			3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B			3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B			1.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B			2.0	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			4.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。																
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.7	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						4.0	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 消火剤			B			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			B			4.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 冷媒			B			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。																
LR3 敷地外環境																
LCCO2排出率が71%である。																
1 地球温暖化への配慮			B			4.5	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5
2 地域環境への配慮																
2.1 大気汚染防止			B			3.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D	2.0	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.2	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			B			3.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制						4.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D	3.0	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
十分な駐車スペースを確保している。																
3 周辺環境への配慮																
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	3.3
1 騒音						3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 振動						3.0	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭						-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制						4.7	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						5.0	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						4.0	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。																
バルコニーの設置によりグレアの抑制を行っている。																